

金沢区地域子育て支援拠点事業
令和6年度重点目標評価結果・令和7年度重点目標

事業実施期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日（3年度目／5か年度）
事業の実施者	公益財団法人 横浜YMCA
	金沢区こども家庭支援課
事業目的	市民が安心して子どもを産み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。 【事業・施設運営の基本理念】 1 金沢区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わるることができる視点に立った運営 6 地域のひととひとのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供（親子の居場所事業） 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること（子育て相談事業） 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること（情報収集・提供事業） 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること（支援者ネットワーク事業） 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること（人材育成、活動支援事業） 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること（横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業） 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること（利用者支援事業）
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

令和6年度重点目標の評価

令和6年度重点目標	子育てを応援してくださる方の発掘と育成を区と拠点が協力して行い、金沢区全体として子育て家庭をあたかく見守る人材が増えている。また、前向きな子育てを心がける支援者や養育者が増えている。
取組内容	①かなざわっこを共に育む応援プロジェクトを始動します。 ・子育て応援ボランティア募集を精力的に行い、子育てを共に応援してくださる方を増やします。 ・子育て支援活動の一助となるよう、子育て支援にかかわる方を対象にした講座を上期と下期に開催します。 ②「金沢八っさく(子育て練習室)」講師養成講座を開催し、地域の居場所や保育現場等で活用していただけるように取り組みます。 ※お子さんへの前向きな声がけなどをロールプレイング形式で練習する講座。
取組の成果	①「かなざわっこを共に育む応援プロジェクト」を始動しました。 ・子育て応援ボランティア募集について、拠点ホームページに「子育てを応援する皆さんへ」の名称で特設ページを開設し、ボランティア募集に関する周知につなげました（閲覧数1,123件：令和6年7月～令和7年3月）。拠点が開催している「子育て応援ボランティア説明会」には16人が参加し、うち12人がボランティアとして登録しました。また、横浜子育てサポートシステムの提供・両方会員の募集を精力的に行い、新たに18人が登録しました。 ・子育て支援に関わる方を対象とした講座（「スキルアップ講座」「健康づくり講座」「生活を豊かにする講座」）を6講座開催し、延べ164人が参加しました。 ②日常よく起こりうる場面を想定し「ほめ方」「しかり方」「つたえ方」をロールプレイング形式で楽しく練習する「金沢八っさく(子育て練習室)」について、講師養成講座と養育者向けの講座を定期的に開催しました。 講師養成講座には8人が参加し、そのうち実際に講座を担当する講師として3人が登録しました。 また、養育者向け講座として、しっかり練習して身につけたい方におすすめの3回連続講座を区役所や拠点で2コース、ダイジェスト版の1回講座を親と子のつどいの広場で4回開催し、延べ52人が参加しました。講座後のアンケートでは、全員が「満足」と回答し、「自宅で実践していきたい」「また受講したい」などの前向きなご意見をいただいています。
取組の課題	①「かなざわっこを共に育む応援プロジェクト」の初年度である令和6年度は、これまで子育て支援に携わっていただいている方や団体を中心に講座の周知等を行いました。更に多くの方に参加していただけるよう、これまでアプローチできていない団体等にも取組の周知を広げていく必要があります。 ②「金沢八っさく(子育て練習室)」では、より多くの養育者・子育て支援者に講座の存在や意義を知っていただく必要があります。また、子育て中の養育者でも参加しやすく、かつ、しっかり身につけられるよう、回数・内容等を見直していく必要があります。

次年度重点目標

令和7年度重点目標	①子育てを応援してくださる方の発掘と育成に加え、継続的に活動できるよう支援することで、これまで以上に学生からシニアの方々が出て世代と関わりが持てるようになります。 ②金沢八っさく(子育て練習室)の認知度を向上させ、必要な方に受講してもらうことで、前向きな子育てができる養育者の増加を図ります。 ③休館日や閉館時間を活用した取組を進め、様々な事情により通常時間の利用が難しい方が拠点を利用するきっかけとします。
取組内容	①-1「かなざわっこを共に育む応援プロジェクト」では、子育てのサポーターの新規確保に向けこれまで子育て分野と関わりの薄い団体等にも講座への参加を働きかけるとともに、新たな媒体等での周知も行います。 ①-2 近隣の大学生や高校生が活躍できる場として拠点を活用してもらうよう、チラシの配架や会議での周知、大学・高校のボランティア窓口を通じた広報などに取り組みます。 ②「金沢八っさく(子育て練習室)」の受講者増に向け、子育て支援者や幼稚園などでのプチ講座の実施を通じて講座の認知度を高めるとともに、日程や回数等を見直し、より参加しやすい講座になるよう工夫します。 ※お子さんへの前向きな声がけなどをロールプレイング形式で練習する講座 ③-1 発達が気になるお子さんの居場所となるよう「ぼかぼかひろば」を休館日に開催するとともに、ひとり親・ワンオペ育児の方にもこれまで以上に拠点を利用してもらえるよう「ゆうがたほっとひろば」を閉館後に定期開催します。 ③-2 「ぼかぼかひろば」や「ゆうがたほっとひろば」について、こども家庭相談や乳幼児健診等の個別相談対応時に細やかに声がけするなど周知を強化します。